

新宿通信

NO. 113

- 進路講演会(駿台)抜粋
- 期末考査が始まります

努力は必ず報われる

数学科 八木澤健光

将来の進路について考えるとき、経験の少ない高校生にとって悩みは多いでしょう。更に、現在の世界や日本の情勢を考えると、不確実な事柄が多く存在し、将来どうなることやら不安な気持ちになることでしょう。それは私も同じです。しかし、どのような状況になったとしても、失敗を恐れず自分を信じ努力をし続けることが大切ではないでしょうか。

私の高校時代の話をいたしましょう。「人生は短くあつという間に過ぎてしまうから、後悔をしないようにやりたいことは諦めずに実行したい。そして楽しい人生でありたい。」と考えていました。それ故、部活（吹奏楽とギター）・友情・恋愛など自分の考えに基づき行動していたため、迷いは殆どありませんでした。しかし、2年生の秋頃から進路選択で悩みはじめました。将来ずっと好きなことを続け、楽しく暮らすという理想に不安が生じたからです。色々と悩んだ末、音楽の先生のお言葉に共感して、数学科を選びました。そのお言葉とは「好きなものを2つあげなさい。そして、2番目に好きなものを選びなさい。1番好きなものである音楽は人生の楽しみとしてやり続けることができる。」でした。

私の話は、単なる1つの例にすぎません。大切なことは、色々な人々のお考えや経験談などを知り、自分で納得し選択することです。人生において、これから重要な選択をしなければならないことは必ずあります。さほど重要ではないことを含めるとたくさんあります。高校における進路選択はその第一歩。今後、より良い選択をするための訓練と考えてもよいでしょう。自分で納得して選択し、その道に進んだとしても、目標とした成果や期待した結果が得られない現実に直面することは少なくありません。例えば、懸命に時間を費やし心血を注いだ努力にも関わらず、受験や就職の失敗、スポーツでの敗北、ビジネスでの頓挫など起こってしまった。この努力は報われなかつたと考えてしまい、大切な人生を無駄にしたと感じ、挫折という言葉が重石のようにのしかかってくる。そして努力しても報われることが少ないと想いこみ落胆てしまい、あまり努力をしなくとも得ることができる安易な方法はないかと、考えてしまうかもしれません。

私はそれを報われなかつた努力とは考えていません。「努力は必ず報われる。」と言いたいです。この言葉の意味するところは、単に目標を達成することではなく、その過程で得られたものが、形を変え、時間を経て、必ずやその後の人生に価値をもたらすという、より普遍的で長期的な真理を指しています。ある目標に向かって努力する際、特定のスキルや知識を習得するだけでなく、より本質的な力を養っています。具体的には、問題解決能力、忍耐力、時間管理能力、そして何よりも困難に立ち向かう精神力です。また、価値をもたらすものとして転用性と人格形成も重要です。転用性については、一つの希望が絶たれたとしても、その時の努力は、次の扉を開く鍵となり、その後の人生のあらゆる局面で、「あの時の努力があったからこそ」と実感できる瞬間が必ず訪れます。結果として、当初の目標よりも自分に合った道を見つけるきっかけになることもあります。人格形成については、目標達成に至らなくても、努力の過程で人は内面から磨かれます。挫折を経験し、そこから立ち直ろうともがく中で、自己理解が深まり、他者の苦悩に共感できるようになります。そして、あなたが費やした情熱と時間は、形は変わっても、より豊かで成熟した人間として、あなたの未来を必ず支えます。良い結果が出ようと出まいと、努力の過程を誇りに思い、次の努力の糧とし続けることが、賢明な生き方であると言えないでしょうか。

最後に、君たちへ贈る言葉：目標に向かって努力し続け、突き進んでください。自分のペースで！疲れたら休むことを忘れずに！ あなたにとって素敵なお人生を過ごせるよう応援しています。

君たちへの応援歌2（抜粋） 作詞・作曲 八木澤健光

心配ないよ 君たちならば
かがやく姿が 見えるようだ

努力は報われる
応援しているよ



○進路講演会（駿台）

10月末に駿台予備校による進路講演会が行われました。以下、講演内容の抜粋です。1, 2年生も来年以降の参考にしてください。

1. 国公立大学志願者推移



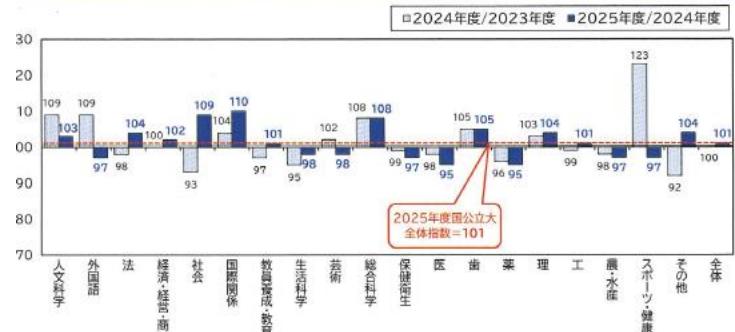
2021年度以降42万人代で推移し、2025年度の志願倍率平均は4.36倍。



新課程入試で共通テストの平均点がアップし、受験生が手堅く出願する傾向が見られた。難関国立10大学ではほとんどの大学が志願者減。特に東京大学、東京科学大学では前年比1割程度減少した。

2. 国公立大学系統別志願状況

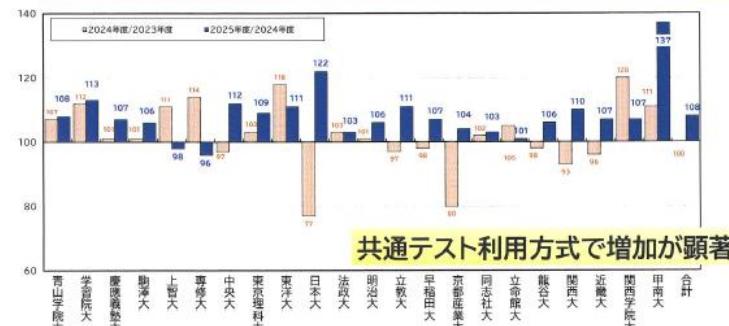
国公立大学一般選抜 系統別志願状況2ヶ年比較



文系では社会系、国際系の人気が根強い。理系では総合科学系が2年連続で増加している。スポーツ健康系は国公立大学で志願者増が落ちついた一方、私立大学では大幅に増加した。

3. 主要私立大学志願者数

私立大学一般選抜 主要私立大学 志願者数2ヶ年比較



共通テスト利用方式で増加が顕著

教育課程変更等を背景とした安全志向により、私立併願校数が増加した。特に共通テスト利用方式で増加が顕著となっている。

4. 受験スケジュールについて

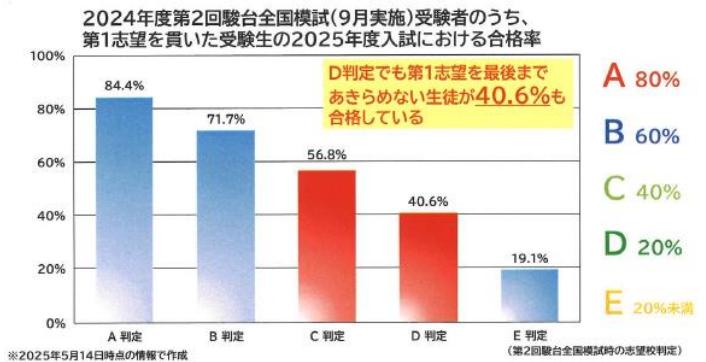
2026年度入試 大学入試スケジュール	
【国公立大学】	【私立大学】
大学入学共通テスト マイベージ作成(7/1~10/3 17:00まで) 大学入学共通テスト出願(9/16~10/3 17:00まで) 【検定料等支払期間 9/16~10/3 23:59まで】	
総合型選抜(9/1~)結果発表2/11まで 学校推薦型選抜(11/1~) 結果発表 共通テストを譲らない 1/23まで 共通テストを譲る 2/11まで	総合型選抜(9月~) 学校推薦型選抜(11月~) 定員の50%までを学校推薦型選抜で選抜可
大学入学共通テスト(1/17~18)⇒自己採点結果提出(1/19)	
個別(2次)試験出願(1/26~2/4)	私立大学一般選抜(2/1~3/25) ◎2/1以前も可だが高校や受験生に配慮すること ◎私立大学入試の一般的な入試科目 文系: 英語・国語・数学or歴公 理系: 英語・数学・理科 ◎入試方式の多様化 英語外部試験利用入試・全学部方式・得意科目重視など
2段階選抜における第1段階選抜結果発表は、 前期 2/11まで、中期 2/18まで、後期 2/28まで	
前期日程試験 (2/25~)	(国立大学3/6~10) (公立大学3/1~10) 発表 手続 (3/15まで★)
中期日程試験 (3/8~)	中期・後期 3/20~24 発表 手續 (3/27まで★)
後期日程試験 (3/12~)	第一志望校は前期日程で！

受験スケジュール例① *2025年度入試例

入試	出願締切	受験大学・学部(学科)<方式/日程>	入試日	発表日	手続日	結果
共通テスト利用	1/17	芝浦工業大・建築(建築/空間建築デザイン)<前期3>	1/18,19	2/14	2/20	合格
	1/17	東京理科大・創造理工(建築)<A方式>	1/18,19	2/15	2/19	合格
	1/17	明治大・理工(建築)<前期4>	1/18,19	2/14	2/27	合格
	1/18	東京電機大・理工(建築都市環境学系)<前期3>	1/18,19	2/12	2/19	合格
私立大学	1/17	芝浦工業大・建築(建築/空間建築デザイン)<前期A>	2/2	2/14	2/20	合格
	1/17	芝浦工業大・建築(建築/空間建築デザイン)<前期B>	2/2	2/14	2/20	合格
	1/23	東京理科大・創造理工(建築)<B方式>	2/6	2/21	2/27	合格
	1/23	明治大・理工(建築)<学部別>	2/7	2/14	2/27	合格
	1/23	東京理科大・理工(工・建築)<B方式>	2/8	2/23	2/28	合格
	1/20	慶應義塾大・理工(学部)	2/12	2/24	3/3	不合格
	1/20	早稲田大・創造理工(建築)	2/16	2/27	3/6	不合格
国公立大学	2/5	東京科学大・環境社会理工<前期>	2/25,26	3/7	3/14	入学
	2/5	千葉大・工(総合工・建築)<後期>	3/12	3/20	3/27	未受験

- ・ 私大の共通テスト利用入試出願締切は、共通テスト前が多く、一般入試の出願締切も共通テスト後すぐ。「共通テストの結果を見て」というわけにはいかないので注意。
- ・ 国公立大学の発表までに、私立大学のいざれかには一時金を納入することになる。私立の本命となる大学の発表まで待ってくれる併願校はあるか、手続き締切を確認しておく。

5. 最後に



現役生は試験当日まで大きく伸びる。受験スケジュールを熟考して現実的な併願校を探しつつ、諦めないで第一志望を貫こう。

○期末考査が始まります

期末考査(3年生は学年末考査)が迫ってきました。習熟度別クラスに分かれる科目では、3回のクラス替えを経て、一部の生徒の中に「この科目は無理…」と諦めモードの生徒が見受けられるようになってきました。習熟度別のクラス編成は、習熟度に合わせたきめ細かい指導を行っています。自分のペースで着実に、力をつけていってもらいたいと思います。

受験は定期考査の延長です。合格速報会や進路のしおりの合格体験記で、先輩方のほとんどが、「定期考査はしっかり取り組んだ」と言っています。試験勉強をしっかりやりきり、期末考査に臨みましょう。

先輩からの言葉

自主・自律、そして自由

NHK首都圏局 ニュースデスク

50回生 有吉桃子

原稿の依頼を頂き、ようやく執筆に取りかかった今年7月。幸いなことにたまたま同窓会が開かれ、新宿高校での日々を鮮やかに思い出すことができた。大都会の新宿で、隣には御苑がある恵まれた環境で、自由に伸び伸びと、何より楽しかった日々・・。同級生はみんな優しかった。それぞれ良い中年になっているはずだが、お互いに「変わらないね～」と声をかけあった。何の利害関係もなく、過去の自分の恥ずかしいところも良いところも知ってくれている。少しばかり榮えをよくして参加したいとは思ったが、飾る必要もないし、強がる必要もなかった。この場を借りて企画してくれた幹事の方々、すべての参加者と、来てくださった先生方に改めて御礼申し上げたい。

さて、振り返る機会に恵まれ、思い出した高校時代。とにかく自分で決められることが増え、大人としての一歩を踏み出させてもらえた期間だった。それまで割と真面目に過ごしてきた私にとって、新宿高校で出会った人達はとても自由で格好良く刺激的だった。髪が緑色だったり、鼻にピアスがあいていたり、好きなことも様々、お互いを認め合う多様性があった。そんな中、私は少しいきがろうと思ったのか、授業をさぼり、単位を落としそうになった。作文の提出を求められ、「勉強をする意味がわからない」という趣旨の文章を提出。国語の三浦先生から「言葉を知らなければコミュニケーションができないように、知識がなければ物事を考えることができない」という至極真っ当で説得力のあるお返事を頂いた。格好悪いことこの上ないが、「自主・自律」の意味を理解し、自分がどんな生き方をしたいのか、そのためにはどうしたらよいか考えるようになった。

その後、立教大学観光学部に入学（夢は世界中を回るツアコンでした）。そして、支離滅裂かもしれないが、記者としてNHKに入局した。これまで宮崎、仙台、政治部などで勤務した。一応、専門は政治や行政、選挙だが、事件も裁判も災害も、子育てなど生活に身近な話題も何でも取材し、泊まり明けもやって、土日も不規則によく働いた。働き方改革も進めてはいるが、いわゆる“ブラック”な、“オワコン”かもしれない。ただ、頑張っている人や、大変な状況にある人、政治家など、あらゆる人の話を聞けて、地域の、国の、そして世界の課題を勉強させてもらいながら、伝えることができるとしても楽しい仕事だ。

今は関東甲信越地方の選挙などを担当していて、直近では都議会選挙や参議院選挙で「投票の参考になる情報」を発信しようと記者たちと様々なトライアルをした。皆さんの役に立ったのか、届いたのかは正直わからない。人口減少、高齢化が進み、財政が硬直化し、経済は複雑化し、価値観は多様化し、物価高が進み、異常な気象が続き、様々な問題を抱えているこの国やこの世界がどうなっていくべきなのか。そんなことを選挙をきっかけに考えてもらえたのか、自信がない。強烈に日々、三浦先生の言葉を思い出す。コミュニケーションをとるには、共通の言葉を知らないとできないし、物事を考えるには知識がないといけない。この仕事を続ければ続けるほど、これが本当に難しい。同じ日本語を話していても、同じ国で育っても、人はそれぞれ認識も常識も知識も違うし、地域によっても違う。自分と同じように感じたり考えたりする人はごく少数だ。触れている情報やメディアも違う。SNSの発達などによって分断の時代と言われる今、オールドメディアはどう視聴者とコミュニケーションしていくのか、どう広い視野を持って互いに尊重し合える世界を築いていけるのか。

今、新宿高校に通うさんはきっと私たち世代より勉強がでけて、大きな夢を持ってそこにいらっしゃると思う。そしてあの頃とは違う単位制。もっともっと「自主・自律」を求められていると思う。心から、その環境を楽しんで、もっと自由で、もっとよい社会を作っていくため「自主・自律」を極めていってほしい。

（同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。）

※今後の予定（進路関係）

- 12/ 3(水)～9(火) 3年学年末考査
- 12/ 4(木)～9(火) 1, 2学年期末考査
- 12/10(水)～1/15(木) 3学年特別授業
- 12/23(火)、24(水) 3学年共通テストシミュレーション